

募集班長の模型部屋(第21回)

皆さん、こんにちは。今年の流行語の中に「壁ドン」なるものがあるそうで、家に帰って中2の娘に「ちょっとそこに立って・・・ドン!!」とやったら「あのねえ、誰でもやればいってもんじゃないんだよ。」だそうなの。「しょうがないじゃん。やる相手がお前達しかないんだから・・・」「うわっ!キモッ!!」我が家は平和です。さて今回は、タイガー戦車のときにも述べましたが、多くの模型少年達を作ったであろう物の中から・・・

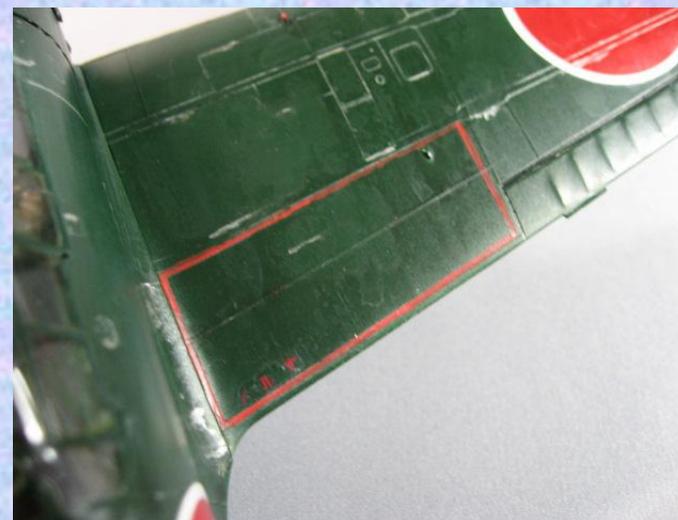
ゼロ戦です。



本キットはタミヤの1/48で、昭和61年末に発売された「零式艦上戦闘機52型」です。発売されてからすでに28年が経過しています。私が高校3年生のときに発売され、学生生活最後の冬休みに、入隊への不安を感じながら作ったのを覚えています。あれから28年・・・今では新金型でリニューアルされているようですが、旧キットもまだ発売されており、凸モールドもまだ随所に使われており古さを感じます。でも、あえてストレート組みでどこまで作り込む事が出来るかに挑戦しました。高校3年生のあの頃を思い出し、長かったなぁと自分の自衛官人生の長さを感じてしまいました。



キットは先述したとおりストレート組、塗装はホワイトサフェイサーを吹いた後にGS
Iクレオスの濃緑色（中島系）と灰緑色（中島系）を使用しました。灰緑色は少し暗かっ
たかな・・・と思いましたが、もうイメージの世界です。



今のキットでは踏みつけ禁止エリア表示をデカールで表現するのですが、この頃の
キットは平気で色を塗りなさいとの説明が・・・マスキングして丁寧にRLM23レッドで
塗りました。色あせた感じの赤が表現できると思ったので使用しました。結構いい色だ
と思います。



彼我識別帯の黄色についてもデカールではなく、自分で塗装。マスキングしてキャラクターイエローで塗りました。発色が良くて日本陸軍戦車の黄色にも使用しています。エンジンカウルの黒は、専用の色が発売されているようですが、フラットブラックで強行塗装しました。貧乏モデラーには新色を買う余裕がありません。

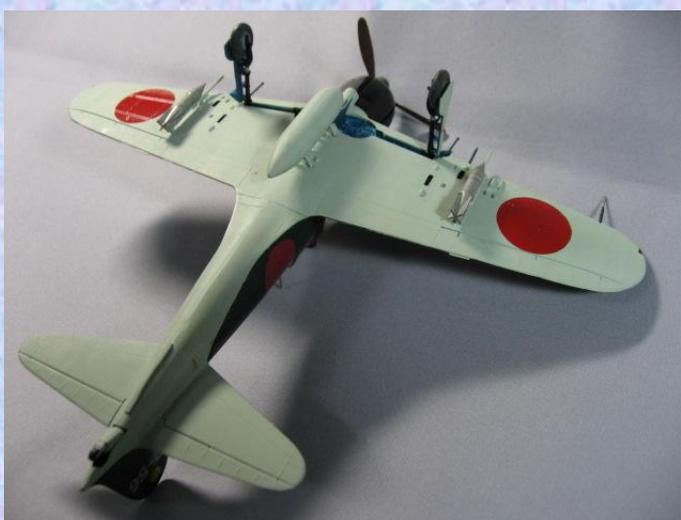


基本塗装が終わった後にデカールを貼り付けてスミ入れし、タミヤ「ウェザリングスティック」のライトアースやサンドを使って埃を表現。薄くこすりつけ、ぬらした綿棒で拭き取りを繰り返して表面の光沢を消し、飛行機の「使い込まれた感」を表現します。デカール貼り付けの際は「マークソフター」を使って凹凸に密着させます。塗装の剥げた表現をスーパーシルバーで表現します。

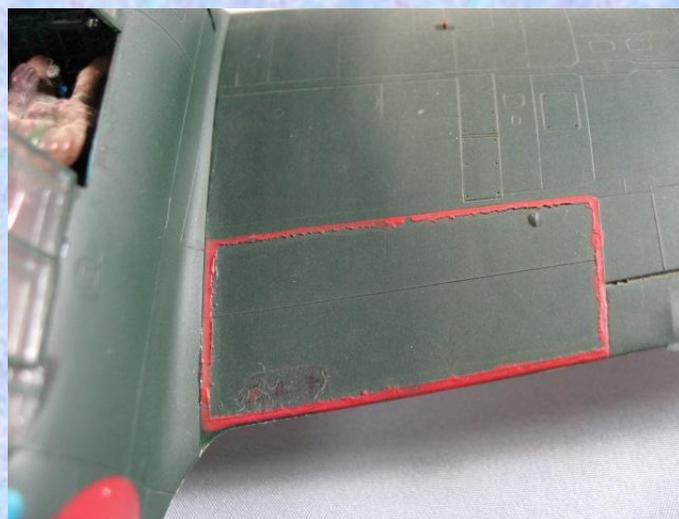




で、こちらが28年前に作った同じキットです。高校3年生当時の技量が分かります。ストレート組で、塗装はタミヤアクリルカラーの「筆塗り」です。エアブラシは持っていたのですが、コンプレッサーではなくフロンガス缶を使用していたのでお小遣いの制限からまだ筆塗りが主流でした。



筆塗りにしてこの筆ムラのなさ！当時はきれいに塗れたと喜んでいましたが、スミ入れなどリアリティに欠けるとの当時のポリシーから実施してません。おかげでノッペリとしたゼロ戦になってます。



踏みつけ禁止線ももったりとした塗り方で、境界がガタガタです（笑）



46歳の私と18歳の私の競演です（笑）まあ、少しはきれいに作れるようになったかな・・・



なんだかんだいっても、ゼロ戦はカッコ良くて美しい飛行機だと思います。日本人の底力を代表するような航空機ですよね。

上記の製作途中の様子は新潟地本非公式ツイッター「募集班長の模型部屋」をご覧ください。また、毎週何かしら作っているので、その様子も紹介しています。

さて、今回は・・・製作中なので、内緒です。

ではまたお付き合いください。